

平成 29 年度

看護学部

指定校推薦入試

平成 29 年 10 月 29 日

平成 29 年度健康科学大学入学試験  
小論文試験問題（指定校推薦）

次の文章を読み、あとの問いについて別紙解答用紙に記述しなさい。

スウェーデンに着いてしばらくして、日本でいえば厚生省の部長クラスの話聞くチャンスに恵まれた。

「私は老人ホームなんてところには年をとってから入りたいとは思わない。あんなところは早くなくしてしまわねば」というような話からはじまり、「障害はなおるものだ」と聞き、耳を疑った。なおらないから障害というのだと教わっていたので、この人はこの分野では①シロウトなのかとも思ったりして聞いていた。「スウェーデンではたんなる身体障害者はもはやハンディキャプトとは呼ばれない。もし、いまだに彼らがそう呼ばれているならば、それはわれわれ政府の責任であり、またスウェーデン社会の責任である」と言い切ったのである。

②イッションなんのことだかわからなかったが、A. ガツーンとやられたという感じがした。「たいへんなことを言うおっさんだなあ。そこまで言うのならこちらも、もう一つ③ショウネをすえてスウェーデン社会を見つめてやろうじゃないか」と決意を新たにした。

そして、その一つの結論。「なかなかやってますよ、スウェーデンは。あのおっさんの話はダメじゃなかった」

ぼくは強度の近視だが、眼鏡のおかげで日常たいして不便を感じない。B. 近視による能力障害(disability)は眼鏡というテクニカルエイド(technical aid)のおかげで、ハンディキャップ(handicap)とならない。パイロットになれないとか、冬の夜、ラーメン屋に入ると眼鏡が曇るというくらいの若干のハンディは残るが。とうぜんのことだが結婚もできる。

いまの日本でも、近視ではなく肢体不自由という能力障害がある場合、そのハンディは重い。街の中で生活することすら困難な場合が多い。ところが、その能力障害を補う道具、すなわち、補装具と呼ばれたり、リハビリ機器とか福祉機器とか呼ばれていたテクニカルエイドが、ほんとうにその人に合っていて、なおかつその道具がその能力を十分に④ハッキリできるような環境になっていれば、ハンディはかなり軽くなる。たとえば、手足の不自由な人がいて、その人にぴったりのすばらしい電動車⑤イスがあり、それが自由に動き回れるような住宅に住み、家の外や街の中もそうになっているなら、歩けないということはもはやハンディキャップにはならない。

(光野有次著 「バリアフリーをつくる、岩波新書」 1998 年)

問 1. 下線部①～⑤のカタカナを漢字にしてください。

- ① シロウト ( )
- ② イッション ( )
- ③ ショウネ ( )
- ④ ハッキ ( )
- ⑤ イス ( )

問 2. 下線部 A の ガツーンとやられたという感じがした という気持ちに至る要因となった言葉を端的に示している箇所を文中から 10 字以内で抜き出してください。

( )

問 3. 下線部 B の文章の“近視”と“眼鏡”の言葉を別の言葉に置き換えて、下線部と同じ意味になるようにしてください。ただし文中に出てくる例文，単語は用いないこと。

近視による能力障害(disability)は眼鏡というテクニカルエイド(technical aid)のおかげで、ハンディキャップ(handicap)とならない。

近視 → ( )

眼鏡 → ( )

問 4. 障害，道具，環境，この 3 つのキーワードを必ず用いて，バリアフリーについてあなたの考えを 400 字以内で述べなさい。

平成 29 年度健康科学大学入学試験  
小論文解答用紙（指定校推薦）

問 1. 下線部①～⑤のカタカナを漢字にしてください。

- ① シロウト ( )
- ② イッション ( )
- ③ ショウネ ( )
- ④ ハッキ ( )
- ⑤ イス ( )

問 2. 下線部 A のガツーンとやられたという感じがしたという気持ちに至る要因となった言葉を端的に示している箇所を文中から 10 字以内で抜き出しなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問 3. 下線部 B の文章の“近視”と“眼鏡”の言葉を別の言葉に置き換えて、下線部と同じ意味になるようにしてください。ただし文中に出てくる例文、単語は用いないこと。

近視による能力障害(disability)は眼鏡というテクニカルエイド(technical aid)のおかげで、ハンディキャップ(handicap)とならない。

近視 → ( )

眼鏡 → ( )

問 4. 障害、道具、環境、この 3 つのキーワードを必ず用いて、バリアフリーについてあなたの考えを 400 字以内で述べなさい。



## 解答例

問 1. 下線部①～⑤のカタカナを漢字にしてください。 配点 5 点×5=25 点

- ① シロウト ( 素人 )
- ② イッション ( 一瞬 )
- ③ ショウネ ( 性根 )
- ④ ハッキ ( 発揮 )
- ⑤ イス ( 椅子 )

問 2. 下線部 A の ガツーンとやられたという感じがした という気持ちに至る要因となった言葉を端的に示している箇所を文中から 10 字以内で抜き出してください。 配点 5 点

( 障害はなおるものだ ) ( われわれ政府の責任 )

※どちらでも正解。これ以外は不正解とする。

問 3. 下線部 B の文章の“近視”と“眼鏡”の言葉を別の言葉に置き換えて、下線部と同じ意味になるようにしてください。ただし文中に出てくる例文、単語は用いないこと。

配点 10 点

解答例 1 近視 → ( 難聴 ) 眼鏡 → ( 補聴器 )

問 4. 障害, 道具, 環境, この 3 つのキーワードを必ず用いて, バリアフリーについてあなたの考えを 400 字以内で述べなさい。 配点 60 点

1. 文字数 10 点満点

適度な文字数 10 点 320 字未満 5 点 200 字未満 0 点

2. 誤字脱字 10 点満点 (同じ文字については 1 回のみ減点)

1 か所まで 10 点 3 か所 5 点 4 か所以上 0 点

3. キーワード 5 点満点

3 つのキーワードすべて用いられている 5 点 2 つ以下 0 点

4. 論理的な構成 10 点満点 10 点 5 点 0 点

(構成要素 段落の不備 起承転結 ひらがなの多用 等)

5. 自分自身の考えが述べられている 25 点満点

25 点 15 点 10 点 5 点 0 点

(一貫性 独創性、経験値、一般論 等)

